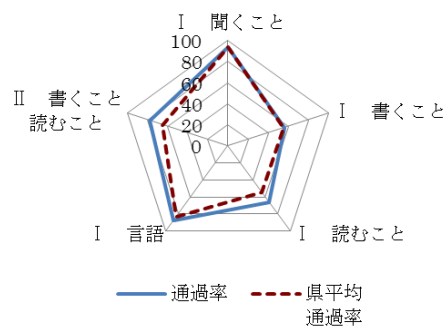


# 指導方法等の改善計画について〔国語〕

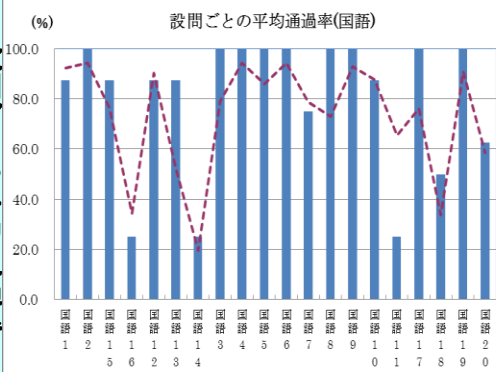
## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 80.0%, 県 73.6%)

領域別平均通過率

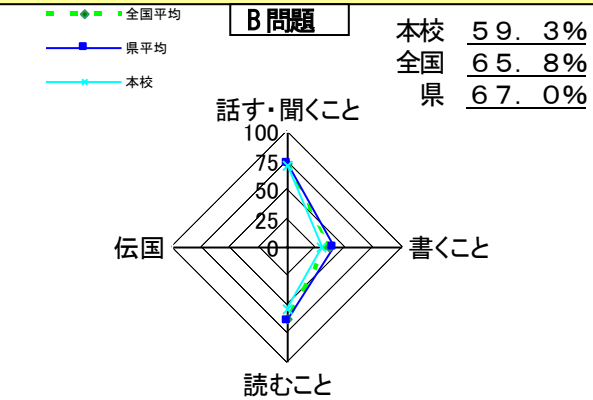
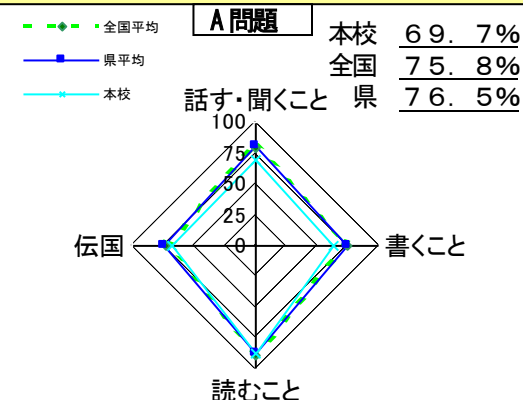
領域別平均通過率(国語)



設問ごとの平均通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎領域「読むこと」における「登場人物の心情の把握」の通過率が25%と低い。  
(県平均19.4%)  
領域「書くこと」における「叙述の仕方の確認」の通過率が25%と低い。  
(県平均34.3%)  
◇国語 B: 主として活用 領域「読むこと」における「文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える」の正答率が40.0%と県平均(67.9%)を下回っている。(無回答率0%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

◎授業の中で、ワークシートの活用や心情曲線の作成を工夫し、分かりやすいまとめ方を実践する。  
また、伝えたい事柄を明確に書く活動を取り入れる。  
◇段落相互の関係を図式化し、指定された字数で要旨をまとめる活動を取り入れることで「読む力」および「書く力」を高める。  
※小中一貫した取り組みについては、授業の中で目的や必要に応じて書く活動や、書いた文章を読み返す活動を取り入れ、書こうとすることの中心的内容を明確にして書く力を高める。

| ◎「基礎・基本」 | 9月          | 10月 | 11月       | 12月 | 1月 | 2月            | 3月         |
|----------|-------------|-----|-----------|-----|----|---------------|------------|
| 学年・方法    | 2年生・休み明けテスト |     | 2年生・期末テスト |     |    | 1年生・H27「基礎基本」 | 1年生・学年末テスト |
| 目標値      | 60.0%       |     | 70.0%     |     |    | 70.0%         | 60.0%      |
| 実施後数値    |             |     |           |     |    |               |            |

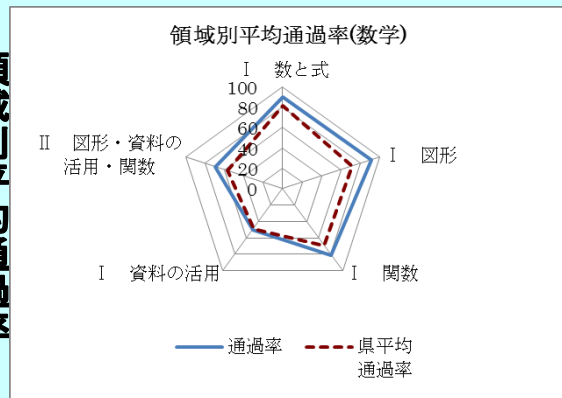
| ◇全国学力 | 9月          | 10月       | 11月 | 12月 | 1月 | 2月           | 3月         |
|-------|-------------|-----------|-----|-----|----|--------------|------------|
| 学年・方法 | 3年生・休み明けテスト | 3年生・中間テスト |     |     |    | 2年・H27「全国学力」 | 2年生・学年末テスト |
| 目標値   | 60.0%       | 60.0%     |     |     |    | 70.0%        | 70.0%      |
| 実施後数値 |             |           |     |     |    |              |            |

来年度に向けて

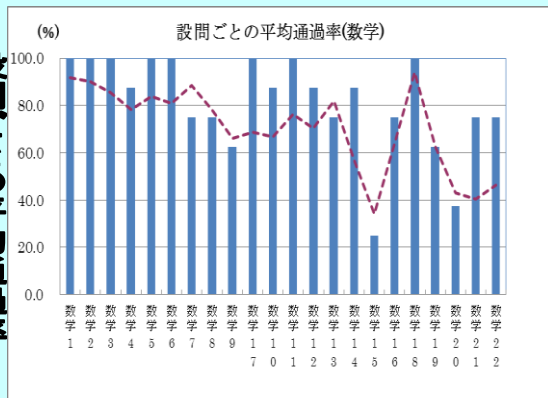
# 指導方法等の改善計画について〔数学〕

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 81.3%, 県 70.4%)

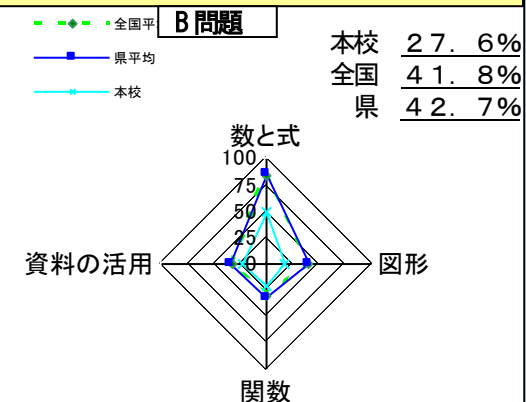
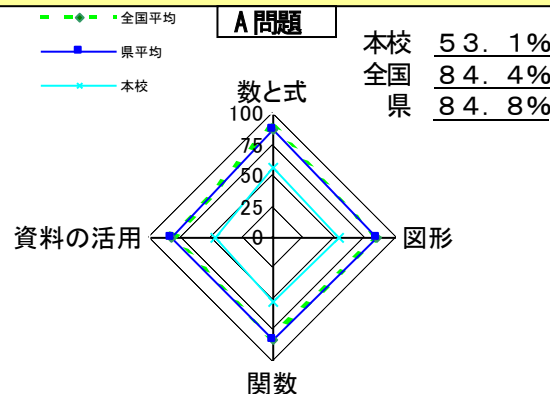
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎資料の活用「中央値の意味」の問題の通過率が25.0% (県平均34.2%)と低い。また、「情報の適切な選択」の問題の通過率も37.5% (県平均42.9%)と低い。

◇A問題4- (2)「平行移動した図形をかく」の問題の通過率が20.0% (県平均55.0%, 全国平均54.5%)と低い。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎言葉の意味をしっかりと理解させ、その定着のために反復練習をさせる。さらに、図や表、グラフから読み取った内容を説明する力を持たせるために、個人・グループ等で分析をし、発表させる。

◇言葉の意味をしっかりと理解させ、実際に移動する様を見せる。また、想像して考えることが苦手なので、身近なことで考えられる問題に取り組ませる。

※小中一貫した取組については、説明する力を身に付けるために、説明の仕方をパターン化し、反復練習させる。

| ◎「基礎・基本」 | 9月             | 10月 | 11月 | 12月 | 1月                 | 2月                      | 3月            |
|----------|----------------|-----|-----|-----|--------------------|-------------------------|---------------|
| 学年・方法    | 2年生<br>休み明けテスト |     |     |     | 1年生 H26<br>「基礎・基本」 | 1・2年生<br>H27<br>「基礎・基本」 | 1年生<br>学年末テスト |
| 目標値      | 60.0%          |     |     |     | 65.0%              | 65.0%                   | 70.0%         |
| 実施後数値    |                |     |     |     |                    |                         |               |

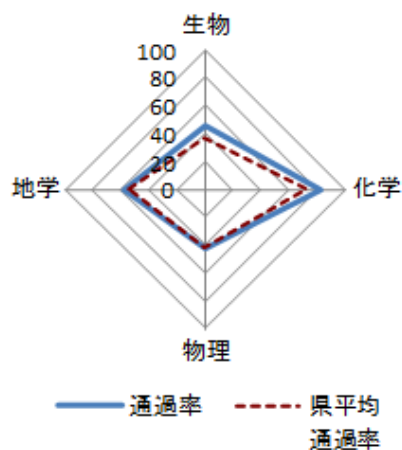
| ◇全国学力 | 9月             | 10月 | 11月 | 12月 | 1月                | 2月                     | 3月            |
|-------|----------------|-----|-----|-----|-------------------|------------------------|---------------|
| 学年・方法 | 3年生<br>休み明けテスト |     |     |     | 2年生 H26<br>「全国学力」 | 2・3年生<br>H27<br>「全国学力」 | 2年生<br>学年末テスト |
| 目標値   | 60.0%          |     |     |     | 65.0%             | 65.0%                  | 70.0%         |
| 実施後数値 |                |     |     |     |                   |                        |               |

来年度に向けて

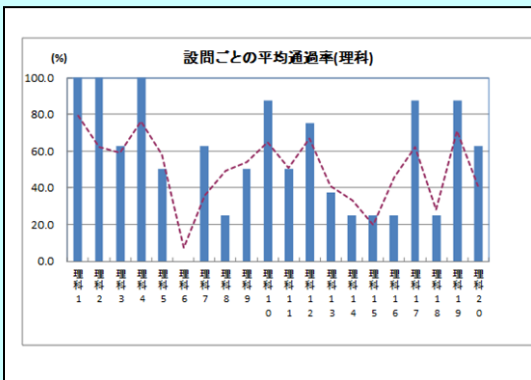
# 指導方法等の改善計画について〔理科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校56.9%, 県50.2%)

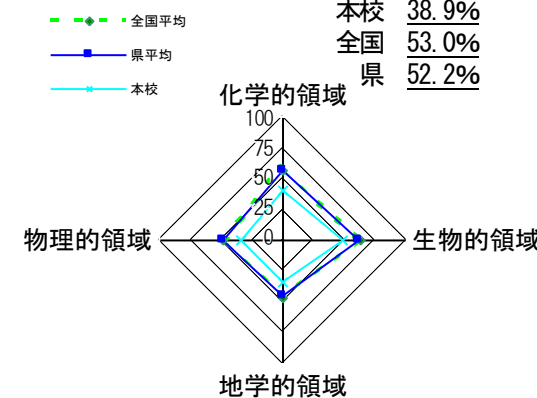
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎光合成の実験結果を根拠に考察する問題の通過率が 25.0 (県平均 49.0), 深成岩のでき方とミョウバンのでき方を関連付けて説明する問題の通過率が 25.0 (県平均 45.5) であり, 県平均を大きく下回っている。実験結果が何に起因するのか分析することに課題がある。

◇音の高さが空気の部分の長さに関係していることを確かめる実験を計画する問題の正答率が0% (全国 29.9%) であり, 実験の計画に課題が見られた。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎実験を行うとき, 条件制御を厳密にし, 条件と結果の因果関係を正しく結びつけるよう考察の指導を重点的に行う。

◇実験をする際に, 個人または班で実験の計画を立てたり, 一部計画する時間を設ける。

※実験結果と, 導き出される結論についての因果関係を考察する力が不十分なので, 小中一貫して, 実験結果をもとに結論を導き出す活動を重点的に行う。

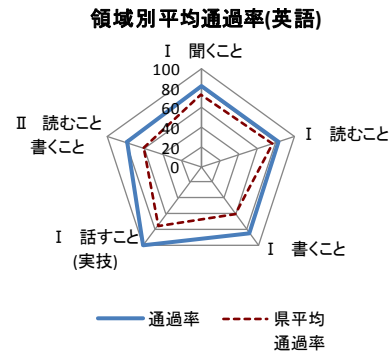
| ◎「基礎・基本」 | 9月               | 10月 | 11月          | 12月 | 1月               | 2月               | 3月            |
|----------|------------------|-----|--------------|-----|------------------|------------------|---------------|
| 学年・方法    | 1・2年生<br>休み明けテスト |     | 1学年<br>期末テスト |     | 2年生 H27<br>基礎・基本 | 1年生 H27<br>基礎・基本 | 2年生<br>学年末テスト |
| 目標値      | 60.0%            |     | 60.0%        |     | 70.0%            | 60.0%            | 60.0%         |
| 実施後数値    |                  |     |              |     |                  |                  |               |

| ◇全国学力 | 9月 | 10月 | 11月            | 12月 | 1月 | 2月            | 3月            |
|-------|----|-----|----------------|-----|----|---------------|---------------|
| 学年・方法 |    |     | 1・2学年<br>期末テスト |     |    | 2・3年生<br>全国学力 | 2年生<br>学年末テスト |
| 目標値   |    |     | 60.0%          |     |    | 60.0%         | 60.0%         |
| 実施後数値 |    |     |                |     |    |               |               |

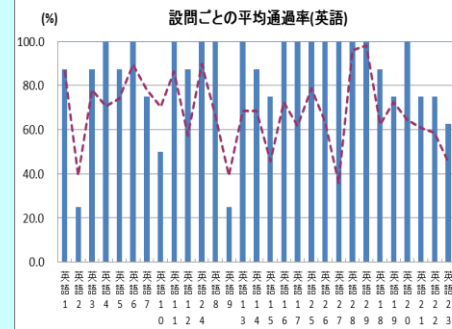
来年度に向けて

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 84.9%, 県 68.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①「聞くこと」に関する大問1の小問2において、Can I ~?の質問に対する答え方が理解できておらず、ほとんどの生徒が Yes, I can. と答えている。  
(通過率25.0%)

◎②「書くこと」に関する大問5の小問2において What + 名詞 から始まる英文に慣れておらず、多くの生徒が What do you like animals? という誤った語順で答えている。  
(通過率25.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎① Can を使った疑問文を指導する時は、Can you ~? の応答のしかただけでなく、Can I ~? など主語を変えた文を導入したり、can を用いて答えない表現を提示し、ペア活動などで定着を図る。

◎②What や Which の導入の時に、疑問詞のあとに名詞を入れる疑問文について説明し、口頭練習を用いて、繰り返し復習する。

※小中一貫した取組については、「書く力」につながる「読む力」を育てられるよう繰り返し指導する。  
ワークシートを用いて、読解問題を解くことで内容把握をすすめる。

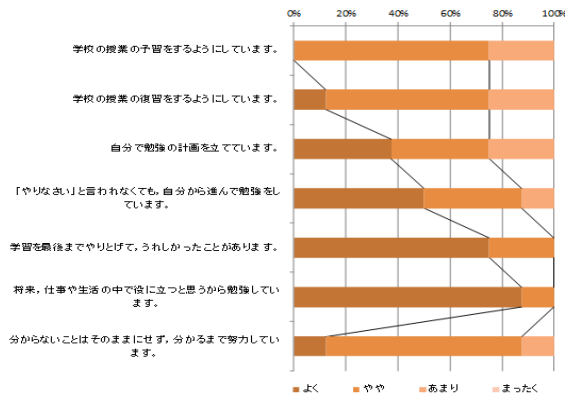
| ◎「基礎・基本」① | 9月           | 10月 | 11月 | 12月               | 1月               | 2月 | 3月              |
|-----------|--------------|-----|-----|-------------------|------------------|----|-----------------|
| 学年・方法     | 2学年<br>暗唱テスト |     |     | 2学年<br>H27「基礎・基本」 | 1・2学年<br>休み明けテスト |    | 1・2学年<br>学年末テスト |
| 目標値       | 60.0%        |     |     | 85.0%             | 75.0%            |    | 75.0%           |
| 実施後数値     |              |     |     |                   |                  |    |                 |

| ◎「基礎・基本」② | 9月             | 10月 | 11月 | 12月            | 1月               | 2月 | 3月                  |
|-----------|----------------|-----|-----|----------------|------------------|----|---------------------|
| 学年・方法     | 2学年<br>休み明けテスト |     |     | 1・2学年<br>期末テスト | 1・2学年<br>休み明けテスト |    | 1・2学年<br>H27「基礎・基本」 |
| 目標値       | 70.0%          |     |     | 70.0%          | 75.0%            |    | 75.0%               |
| 実施後数値     |                |     |     |                |                  |    |                     |

来年度に向けて

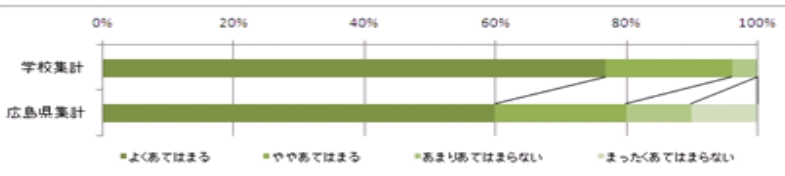
## (1) 生活・学習

学習習慣・学習動機・学習意欲

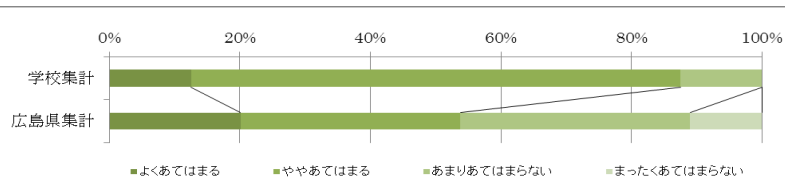


## (2) 教科

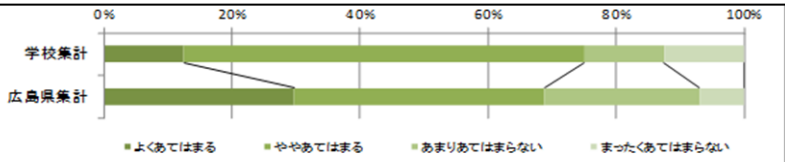
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



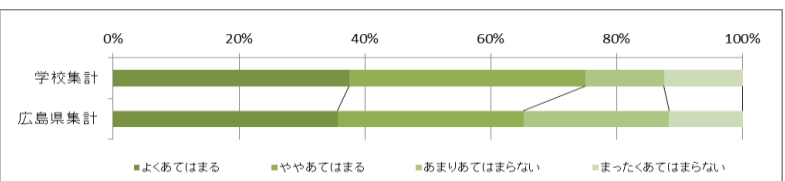
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。



英語の授業では、分からない単語や熟語は、辞書を使って調べています。



|       | 生徒の回答についての課題 (現状値)                                 | 今後の具体的な取組の内容                            | 学年 | 目標値 | 検証方法      | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|-------|--|---|----|-----|-----------|------|------|---------|
| 基礎・基本 | 「学校の授業の予習をするようにしています。」で、よくあてはまると回答した生徒の割合が0%である。   | 授業の中で、終末に次時につながるまとめを必ず行い、予習内容を具体的に指示する。 | 2  | 30% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
| 全国    | 「家で、学校の授業の予習をしていますか。」という設問での肯定的回答をした生徒の割合は20%であった。 | 授業の中で、終末に次時につながるまとめを必ず行い、予習内容を具体的に指示する。 | 3  | 50% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |

|    | 生徒の回答についての課題 (現状値) | 授業改善の方向性や具体的な取組   | 学年 | 目標値 | 検証方法      | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|--------------------|---|----|-----|-----------|------|------|---------|
| 国語 | 基礎・基本              | 「国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるか考えたりしています。」に「よくあてはまる」と答えた生徒が25%である。   | 2  | 60% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
|    | 全国                 | 「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。」の肯定的回答率が40%と低くなっている。                  | 3  | 60% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
| 数学 | 基礎・基本              | 「数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」の肯定的回答率が87.5%と他の項目より低い。                    | 2  | 90% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
|    | 全国                 | 「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」の肯定的回答率が40%と低い。                               | 3  | 60% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
| 理科 | 基礎・基本              | 「理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。」のよくあてはまると回答した生徒が12.5%である。 | 2  | 30% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
|    | 全国                 | 「理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか。」の肯定的回答率が20%で、全国平均を下回った。                  | 3  | 50% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |
| 英語 | 基礎・基本              | 「辞書を使って単語を調べている」に肯定的な回答をした生徒が75%と他の項目よりも低くなっている。                                  | 2  | 60% | 生徒アンケート調査 | 2月   |      |         |